

I 事業の概要

重点評価

I-1 事業の概要

事務事業名	保育所運営費支弁事業（市単費分）	所管局部課等	保健福祉局子育て支援部保育課
		(連絡先)	075-251-2390
	ホームページ	http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/soshiki/8-3-2-0-0.3.html	(評価票作成者)

業務運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容 (名称) (内容)	事務事業の性格		<input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 任意的事業
	<input type="checkbox"/> 部分委託		類型	1 1 その他	
	<input type="checkbox"/> 部分補助等		会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計	
	<input type="checkbox"/> 全部委託		開始時期	昭和 37 年度	
	<input type="checkbox"/> 全部補助等		終了(予定)時期	平成 年度	
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	児童福祉法第51条及び同法第56条3項				

事業概要	対象	(誰を, 何を) 保育所入所児童の属する世帯
	活 動 容	(どのような手段で) 各市町村は, 保育所入所に係る費用の保護者負担金として, 「保育料」を設定し, 各世帯から徴収している。本市では, 国の定める基準を大幅に下回るよう「保育料」を設定(24年度予算 国基準保育料の68.0%)し, その差額分を本市の負担として保護者の負担の軽減を図っている。  <参考> 平成24年度予算 国基準保育料 9, 135, 891千円 (ア) 市基準保育料 6, 212, 351千円 (イ) 市軽減額(市単費 ア-イ) 2, 923, 540千円
	目 的	(どのような状態にしたいのか) 保護者負担の軽減を図ることにより, 保育に欠けるより多くの児童を受け入れる。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H21年度決算	H22年度決算	H23年度決算	H24年度予算	H25年度予算	
①	事業費 (千円)	保育所運営費	2,981,674	2,939,327	2,994,131	2,923,540		
		①' 委託料						
	②	委託料が事業費に占める割合(①' ÷ ①) (%)						
	③	人件費(25年度は見込) (千円)	職員(課長級) (人)	3,417	3,016	2,978	7,210	
			職員(課長補佐級, 係長級) (人)	0.05	0.04	0.05	0.14	
			職員(係員) (人)	0.11	0.09	0.08	0.24	
嘱託職員等人件費 (千円)			0.20	0.20	0.20	0.40		
④	年間経費(①+③) (千円)	2,985,091	2,942,343	2,997,109	2,930,750			
⑤	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)	国庫・府支出金 (千円)						
		受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)						
		その他( ) (千円)						
⑥	京都市年間負担経費(④-⑤) (千円)	2,985,091	2,942,343	2,997,109	2,930,750			
⑦	受益者負担率(受益者負担分÷④) (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

平成24年度  
(平成23年度分)

事業名 保育所運営費支弁事業（市単費分）

## II 評価結果

※「II-1 市民と行政の役割分担評価」は、5年ごとの重点評価時に実施

## II-1 市民と行政の役割分担評価(今年度の評価結果)

評価実施年度 24 年度

公共性		実施主体の妥当性		受益者負担の妥当性
公益性	<input checked="" type="checkbox"/> より多くの市民に提供されるサービス（共同消費性） <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団に提供されるサービス（個人消費性）	政策性	<input checked="" type="checkbox"/> 政策的意図決定を必要とするサービス（政策的） <input type="checkbox"/> 経常業務の度合いが高いサービス（経常的）	必要性(程度)
必需性	<input type="checkbox"/> 日常生活に必要な不可欠なサービス（必需） <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活に必要な不可欠でないサービス（選択）	行政専門性	<input checked="" type="checkbox"/> 行政上の専門知識を必要とするサービス（行政専門性） <input type="checkbox"/> 行政上の専門知識を必要としないサービス（一般専門性）	有(中程度)
判定	④ 選択・共同消費性	判定	① 政策的・行政専門性	現在の受益者負担率
多数の人を対象とし、日常生活に欠かすことができないというほどではないサービスが該当します。 行政が関与するのであれば、特に理由がある場合に最低限の範囲にとどめ、また、受益者負担を伴うことが前提となります。 【例】美術館・博物館の運営など		業務を進めていくうえで、政策的な判断が必要であり、また、そのために行政の専門的な知識やノウハウ等が必要となります。 行政活動の中心となる業務であり、専門知識やノウハウ等の蓄積や人材育成なども欠かせないため、原則として、行政が実施主体となる業務です。		0.0%
国、府、民間事業者による類似事業		他の政令指定都市の実施状況	国基準保育料に対する市保育料の割合 政令市平均70.3%(平成23年度予算ベース 京都市67.9%)	

## II-2 業績評価

目標達成度	指標名	区分	単位	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
指標1	10月1日現在における民営保育所入所児童数	目標値 …①	人	22,020	22,220	22,490	26,000	
		実績値 …②	人	24,928	25,326	25,957		
		目標達成度(②÷①)	%	113.2%	114.0%	115.4%		
		指標の種類	増加することが良いとされる指標	評価	かなり良い	かなり良い	かなり良い	
指標2	翌年度の4月1日時点における待機児童数	目標値 …①	人			0	0	
		実績値 …②	人			118		
		目標達成度(②÷①)	%			#DIV/0!		
		指標の種類	減少することが良いとされる指標	評価			#DIV/0!	
			総合評価			悪い		

指標の選択理由		目標値設定の考え方	
指標1	保護者負担の軽減を図ることにより、保育に欠けるより多くの児童の受入が促進され、効果が図れるという考え方に基づく。	指標2	保育所定員を目標値として、実際の入所者数と比較することで、目標値達成を図るとする。
指標変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	指標名	
指標2	保護者負担の軽減を図ることにより、保育に欠けるより多くの児童の受入が促進され、待機児童数が減少するという考え方に基づく。	適用年度	
指標変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	指標名	
		適用年度	

効率性	No.	区分	単位	H21年度	H22年度	H23年度
	①	10月1日現在における民営保育所入所児童数	人	24,928	25,326	25,957
②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）	千円	2,985,091	2,942,343	2,997,109	
③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	119,749	116,179	115,464	
④	単位当たり経費変動率			-3.0%	-0.6%	
			評価	良くなった	変わらない	

市民参加(市民参加の手法)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	(市民参加の具体的な手法等)
---------------	---	----------------

平成24年度の実施状況	(平成25年度予算案公表時(平成25年2月)に記載・公表予定)
-------------	---------------------------------

市会・監査・外部機関等からの指摘	
------------------	--

## III 今後の方向性

(検討中)	(充実及び縮小等による見直しの理由及び具体的な内容)
	(「II評価結果」を踏まえ、平成25年度予算案公表時(平成25年2月)に記載・公表予定)